

楽しむ、学ぶ。キャンパスマガジン

日本大学法学部ジャーナル

Journal

vol. 19

2016 October ○ 2017 January

特集 法学部における キャリア教育と就職支援

民間企業編



キャリア教育の意義と取り組み
内定者の就活リアル体験談
法学部OB・OGインタビュー

4年生就職内定者の皆さん

Journal

特集

法学部におけるキャリア教育と就職支援

民間企業編

2016 vol.19 October ○ January

日本大学法学部 Event Schedule 10月～2017.1月

就職指導課 教務課 学生課 研究事務課
エクステンションセンター 入学センター 大学院事務課

10
October

- 10月上旬～下旬 SPI3対策講座(10月コース)★
各種公務員業務説明会
各種業界研究ガイダンス
内定者による活動報告&相談会
- 10月3日(月) SPI3対策講座10月コース説明会
- 10月5日(水) 業界研究ガイダンス(入門編)
会社四季報を使ったいい会社の選び方ガイダンス
- 10月6日(木) (2年生のための)エントリーシート攻略テスト(基礎編)★
(2年生のための)就職ガイダンス(含・エントリーシート攻略テストのフォロー)
- 10月12日(水) 自己分析・エントリーシート作成ガイダンス
- 10月14日(金) 業界・企業・職種研究セミナー①・②
- 10月20日(木) 行政書士業務説明会
- 10月21日(金) 業界・企業・職種研究セミナー③・④
- 10月中旬 エントリーシート攻略テスト★
- 10月中旬 就活SNSガイダンス
- 10月下旬 日経講座「ビジネスの基本」①～⑤★
- 10月下旬 SPI3対策テスト(第2回)★

11
November

- 11月上旬～下旬 内定者による活動報告&相談会
各種業界研究ガイダンス
- 11月上旬 キャリア教育講座
- 11月上旬 SPI3WEBテスト説明会
- 11月上旬 エントリーシート攻略テストフォローガイダンス
R-CAP(自己診断テスト)フォローガイダンス
- 11月中旬 自己表現力向上ガイダンス(校友会共催)
- 11月中旬 リクナビ・マイナビを使った就職活動の進め方ガイダンス
- 11月中旬 SPI3対策講座12月コース説明会
- 11月下旬 業界研究ガイダンス(応用編)
面接対策ガイダンス
公開模擬面接
SPI3WEBテスト★
TOEIC講演会

12
December

- 12月上旬～下旬 各種業界研究ガイダンス
各種業界研究セミナー
- 12月上旬～下旬 SPI3対策講座(12月コース)★
- 12月下旬 SPI3対策テスト★

1
January

- 1月上旬～下旬 各種業界研究ガイダンス
各種業界研究セミナー
 - 【期間中随時】 内定者による就職支援プログラム
就職指導課による特別講座
オフィスアワー、相談ブースによる個別相談
ゲストスピーカーによるキャリア講座(正規授業の一コマにて)
- ※10～12月の★印は有料、要事前申込み。
※各行事の詳細は、就職指導課(10号館2階)にて確認してください。

- 9月27日(火)～10月6日(木) 本部招聘(コージマ・メラウ先生) ㊟
- 10月1日(土) ミニオープンキャンパス ㊟
- 10月4日(火) 日本大学創立記念日
- 10月10日(月) 「体育の日」は平常どおり授業を実施 ㊟
WEEKDAY CAMPUS VISIT ㊟
- 10月11日(火) 第4回法務研究科進学相談会 ㊟
- 10月12日(水)～13日(木) 履修登録中止期間(後学期開講科目) ㊟
- 10月29日(土) 第39回法律討論会 ㊟
- 10月中旬～下旬 セミナール説明会・公開ゼミナール
(2年生対象) ㊟

- 11月上旬 平成29年3月卒業及び留年に関する手続き期間
(4年生対象) ㊟
- 11月2日(水) 第37回法検祭準備日(休講) ㊟
- 11月3日(木)～5日(土) 第37回法検祭(休講) ㊟
行政なんでも相談 ㊟
- 11月3日(木) ミニオープンキャンパス ㊟
- 11月6日(日) 第37回法検祭後片付け ㊟
- 11月7日(月)～8日(火) ゼミナール入室申込期間(2年生対象) ㊟
※第一部・第二部ともに、11月7日(月)10:00～8日(火)19:00まで。
- 11月14日(月) WEEKDAY CAMPUS VISIT ㊟
- 11月20日(日) 巡回無料法律相談会(宇都宮市) ㊟
- 11月23日(水) 「勤労感謝の日」は平常どおり授業を実施 ㊟
WEEKDAY CAMPUS VISIT ㊟
- 11月28日(月) 第5回法務研究科進学相談会 ㊟
- 11月中旬～下旬 ゼミナール入室試験(口述)(2年生対象) ㊟

- 12月1日(木) クリスマスイルミネーション点灯式 ㊟
- 12月10日(土) 定期無料法律相談会 ㊟
- 12月17日(土) 平成28年度日本大学法学部資格試験等
合格者褒賞授与式 ㊟
- 12月23日(金) 「天皇誕生日」は平常どおり授業を実施 ㊟
- 12月下旬 日本学生支援機構奨学金継続手続き説明会 ㊟
- 12月26日(月)～1月7日(土) 冬季休業 ㊟

- 1月10日(火) 授業開始 ㊟
- 1月15日(日) 日本学生支援機構奨学金継続手続き入力期限 ㊟
- 1月15日(日)～29日(日) 平成29年度転部(第一部、第二部間)・転科
選考出願期間 ㊟
- 1月16日(月) ゼミナール論文提出締切日 ㊟
※第一部17:00まで。第二部19:00まで。
提出期限の過ぎたものは、理由の如何を問わず受理しません。
- 1月17日(火)～18日(水) 補講期間 ㊟
- 1月19日(木)～2月3日(金) 後学期特別授業期間
(ただし、1月31日(火)・2月1日(水)は除く) ㊟
- 1月28日(土) 1年生英語一斉テスト ㊟

※各項目についての詳細は、各担当課にお問い合わせください。㊟ 教務課 ㊟ 学生課 ㊟ 研究事務課 ㊟ エクステンションセンター ㊟ 入学センター ㊟ 大学院事務課



日本大学法学部ジャーナル
Journal
2016 vol.19 October ○ January
2016年10月15日発行 日本大学法学部広報 通巻127号 発行:日本大学法学部企画・広報委員会

http://www.law.nihon-u.ac.jp/
詳細情報は、随時掲示板およびホームページを見て確認してください。
「日本大学法学部 Journal」のバックナンバーは、法学部ホームページにてご覧いただけます。
http://www.law.nihon-u.ac.jp/publication/pr.html

特集

法学部におけるキャリア教育と就職支援 —民間企業編—

自分のこれからの人生を決める就職活動。大学時代は、社会人、職業人への土台を築く大切な時期でもあります。法学部では、学生に就職や進路選択の基礎的考え方を指導する正課のキャリア教育科目をベースに、就職支援行事、課外講座など多彩なプログラムで、学生の就職活動をバックアップする体制を整えています。そこで今号から2号連続企画として、法学部の就職支援の取り組みを「民間企業編」「公務員編」として特集します。第1弾「民間企業編」では、キャリア教育の概要と意義、民間企業への内定者、OB・OGの声をお届けします。

Contents

- 2 [特集]
**法学部における
 キャリア教育と
 就職支援 —民間企業編—**
 就職(進路)指導委員会委員長
山田光矢 教授

- 4 Chapter 1
**「キャリア教育」の意義と
 法学部の取り組み**
谷田部光一 教授

- 6 Chapter 2
**就職内定者座談会
 —現役4年生の就活リアル体験談—**
 永平 詢さん(新聞学科)
 樋口翔太さん(法律学科)
 池畑紗英子さん(法律学科)
 伊勢歩実さん(政治経済学科)

- 8 Chapter 3
**法学部OB・OG
 インタビュー**
 松井文香さん
 (三井ホーム株式会社)
 地頭園友香さん
 (全日本空輸株式会社)
 板橋俊輝さん
 (埼玉県信用農業協同組合連合会)
 五十嵐響介さん
 (総合広告制作会社)

法学部校友会の就職支援

- 10 Information
～保護者の皆様へ～
**保護者の皆様からの
 就活Q&A**
 就職指導課紹介
 法学部後援会総会
 レポート

- 12 日本大学法学部
 Event Schedule
 (10月～2017年1月)

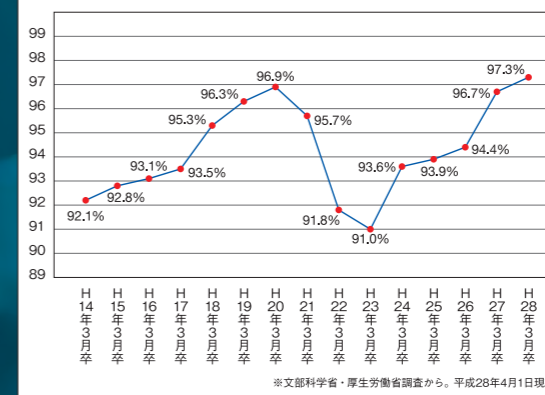
学生たちが社会へ羽ばたくための 多彩な支援体制を整えています

就職(進路)指導委員会は、学生の就職や進路に関する施策企画の検討機関で、各人の将来設計のためのキャリア教育の充実、就職指導課とともに様々な就職支援行事を開催するなど、学生たちの就職活動を全面的にバックアップしています。さらに法学部では、就職にも有利な資格取得にも力を入れていますが、それらを管轄するエクステンションセンターが、今年から10号館2階の就職指導課内に移転したことで、就職支援と資格取得支援が一本化され、より学生のニーズに合わせてサポートできる体制となりました。

就職支援行事としては、低学年向けの基礎講座から、就職活動を間近に控えた学生向けの「エントリーシート作成講座」「面接講座」など、年間で50以上の行事を行っています。また、法学部校友会との連携が強いのも本学部の特徴で、50以上の企業・官公庁で働くOB・OGが来校する「OB・OG就職相談会」、マスコミ業界の先輩から直接話が聞ける「マスコミ業界研究セミナー」、資格取得を目指す学生を応援する「資格試験合格者褒賞制度」などを校友会との共催で行っています。

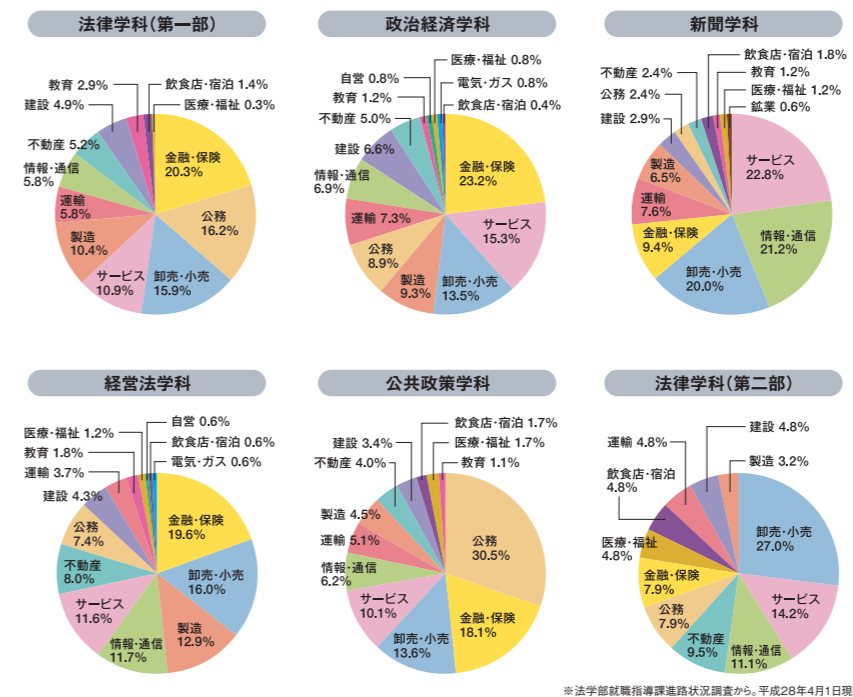
就職活動はとにかく諦めないことです。就活中に疑問や迷いが生じたら、どんなことでも就職指導課へ気軽に相談にきてください。最新の求人情報は就職指導課に日々集まってきましたし、それぞれの学生の悩みや希望に合わせたきめ細かい支援体制を万全に整えています。そして大学生活で体験する様々なことがすべて就職活動の一環だと思って、広い視野を持って学生生活を有意義に過ごしてほしいと思います。

大学卒業者の就職率の推移



平成27年度の国公立大学卒業者の就職率(就職希望者に対する就職者の割合)は、97.3%と前年度から0.6%上昇。企業側の求人需要が高まっていると言えるでしょう。下図は法学部各学科の就職先業界別分布図です。学科ごとに就職先業界の特徴が出ています。

平成27年度法学部学科別就職状況



就職(進路)指導委員会委員長
山田光矢 教授

法学部政治経済学科、大学院法学研究科。行政学、行政学特殊講義、政策管理特論、地方自治論、ゼミナールを担当。

日本大学法学部政治経済学科卒業、日本大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程後期修了。日本地方自治研究会常任理事。著書「パリッシュ」で同学会第一回学会賞を受賞。

法学部校友会の就職支援についてはP9、就職指導課についてはP10でもご紹介しています。

次号では「法学部におけるキャリア教育と就職支援—公務員編—」を特集する予定です。

充実した大学生活と適切な進路選択のために

「キャリア教育」の意義と法学部の取り組み

大学生活は、社会人、職業人として羽ばたくための土台を作る重要な時期でもあります。自分は将来どんな道に進むのか、夢を実現するにはどうしたらいいか。卒業後の進路選択に向けて、学生たちの指針となり、導いていくのが「キャリア教育」です。法学部における「キャリア教育」の取り組みを、正課のキャリア教育科目を数多く担当する谷田部光一教授に伺いました。

社会人、職業人として生きていくための基礎的な能力を大学時代に身につける

「キャリア教育」とは？ その概念と必要性について

「キャリア」とは、広義でいえば人生の生き方そのもののことです。その中でも大きな役割を担う、仕事や職業との関連でみた人生、つまりワーク・キャリア（仕事人生）を狭義で「キャリア教育」と称しています。したがって「キャリア教育」とは、これから社会人、職業人として生きていくための価値観、基礎的な能力を身につけることを目的とした教育のことです。社会人への最後の移行期である大学での教育はすべてが「キャリア教育」と言えるのです。

キャリア教育の重要性は、教育界でも企業でも注目されており、文部科学省による新しい大学設置基準（平成23年4月施行）でも、社会的自立、職業的自立に関する指導等の必要性が明文化されました。この社会的・職業的自立に関する指導が「キャリア・サポート」です。法学部では、正課のキャリア教育科目を通じてキャリア・サポート、さらに資格試験、公務員試験支援、就職支援などの正課外の諸活動を通じてキャリア・サポートで、学生の進路選択をバックアップしています。

とくに1年次に、大学での学びが社会人になるための準備であることを認識することはとても重要だと考えます。そこで学年別にキャリア・サポートの到達目標を設定し（左表参照）、1年次から段階的に学べるよう組み立てました。1年次にキャリアの基礎をしっかりと学習し、それが2年次以降のキャリア専門科目や就職活動へ発展していくことで、充実した大学生活と適切な進路選択に結びついていくのです。

正課の授業+課外講座等で学年ごとにレベルアップ！

それでは具体的に法学部のキャリア教育科目を説明していきます。まず1年次の正課科目では必修科目「自主創造の基礎」の前学期でキャリアの入門編を学びます。それを受けて後学期の「キャリア入門（人生と仕事）」では働くことの意味、社会の変化に伴う生き方や働き方などキャリア（人生と仕事）に関する基礎的な知識を学習します。講義のほか、職業人のゲストスピーカーによる講演なども行います。1年次の課外講座では、入学時にキャリア教育や資格試験、就職支援等を説明する「キャリアプランガイダンス」



谷田部光一 教授
公共政策学科。人材マネジメント論、労働事情、専門演習、ゼミナールなどを担当。キャリア・コンサルタントの資格を持ち、正課のキャリア教育科目でも「キャリア入門」「キャリア・デザインA・B」「インターンシップA・B」を担当。著書に「キャリア・マネジメント-人材マネジメントの視点から-」など。

があります。また「キャリア教育講座」は、時間割りの関係で正課の「キャリア入門」を受講できない学生を対象にした半日集中の人気講座です。「キャリア入門」または「キャリア教育

学年別のキャリア教育、キャリア・サポートの目標	正課のキャリア教育科目 (全学科共通科目)	キャリア関連の 正課専門科目、課外講座
1年次 ①前学期：大学での学び方を身につける。大学生生活の送り方を学ぶ。 ②後学期：「キャリア」「生き方」「働くこと」について認識する。	(1年次必修科目) 自主創造の基礎 I・II <small>(前学期「自分のキャリアをデザインしてみよう」)</small> (1年次生対象、後学期) キャリア入門【人生と仕事】	【課外講座】 「キャリアプランガイダンス」(入学時) 「キャリア教育講座」 (後学期2回、主として1年次生対象)
2年次 ①キャリア、キャリア・デザインの基礎を学ぶ。 ②経済、経営、産業、職業、仕事の実態を理解する。	(2年次から履修可能) キャリア・デザイン A・B キャリア・デベロップメント A・B	【専門科目(例)】 (2年次から履修可能) 「人材マネジメント論 I・II」 「労働法 I・II」「労働事情」 【課外講座】 「キャリア支援講座」(2年次生対象)
3年次 ①自分の将来のキャリアについて具体的に考える力を身につける。 ②キャリア・デザインへ応用、展開し、キャリア(進路)選択活動を開始できる力を身につける。 ③労働市場、就職活動、社会が求める人材、働くことと法律に関する理解を深める。	(3年次生対象) インターンシップ A・B	【専門科目】 「行政実務演習」 (公共政策学科、3年次生対象、インターンシップ+ボランティア)
4年次 ①キャリア選択の本格的な実践力を身につける。 ②社会に出る基礎的な能力を身につける。	↓ 進路選択、就職活動へ	

講座」を受けることで、将来の進路や就職に対する意識が全く違ってくるのでぜひ受講してください。

2年次から開講するのは「キャリア・デザイン」と「キャリア・デベロップメント」です。

「キャリア・デザイン」とは、人生を自ら設計し、選択することです。前学期のAは基礎的なもので、キャリア・デザインの必要性、キャリアのセルフマネジメントの重要性などを学びます。後学期Bはもう少し実践的でアルバイト体験報告や職業人へのインタビュー、業種・業界研究などによって「働くこと」をリアルに認識し、キャリア・デザインの知識、技能を身につけます。

「キャリア・デベロップメントA・B」はさらに専門的に発展させた授業です。マスコミ業界を目指す学生を中心にしたTBSアナウンサー柴田秀一さん(法学部OB)の授業などがあります。また、2年次から履修可能な「労働法」「人材マネジメント論」などの専門科目で補強することで、企業で働くうえでの知識をより深められます。

3年次対象の「インターンシップA・B」は、民間の企業、団体での就業体験を通して就業に対する理解を深めるもので、正課科目ですからインターンシップで単位認定されます。私が担当する授業と、石川先生が担当するメディア関係に限定した授業があります。私の授業では、前学期は自己紹介、業界・職種研究などの事前準備をかなり実践的にやり、インターンシップ先

を探して送り出します。企業研究を授業でしっかりやってからインターンシップに行けるのがメリットですよ。

後学期では、夏休みにインターンシップに行ってきた報告書を発表したり、グループで討議したりします。最近は就活期間の変更により、本格的なインターンシップが年明けになったり、オースタム&ウインターインターンシップもあるのもフォローします。また、エントリーシートの指導も、より論理的に授業の一環として行っています。

社会人になってからもキャリア教育は役に立つ

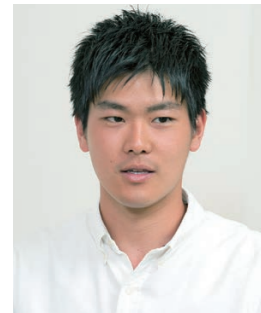
キャリア教育は、就職だけが目的ではありません。社会人、職業人になってからの様々な変化——社会情勢や会社の経営環境等の変化に、自分で自分のキャリアをデザインできる力があれば、新たな道を切り拓いていけるはず。社会人になってからも役立つのです。法学部には、キャリア、進路、就職について学び、考える授業や講座その他の機会がたくさん設けられています。それらを学習することで、自立し自律した社会人、職業人になるための基礎的な能力を身につけてください。

経済や経営はグローバル化し、企業を取り巻く環境は急激に変化しています。企業が求める人材も、高度な専門能力の保有者、多様なタイプの強靱な職業人です。法学部は、将来そうした人材に成長できる力を身につけるための様々な学習機会と選択肢を提供します。



就職内定者座談会

内定獲得ホヤホヤの
現役4年生が語る就活リアル体験談



新聞学科4年
永平 詢さん
内定先
東日本旅客鉄道株式会社
(プロフェッショナル職)



政治経済学科4年 (中村ゼミ)
伊勢歩実さん
内定先
富士通株式会社 (総合職)

座でした。4年生の方たちが自己紹介などをハキハキ言っているのを見て、私もこういうふうにならないといけないんだ、自分の自己分析をもっと頑張ろうと思いました。セミナーに参加するとヤル気をかき立てられます。

樋口 僕は2月に行われた、16年卒の先輩たちの話を聞くイベントがすごくためになりました。自分の大学の先輩という一番近い存在の人たちに、生の就活の話をあつめた時期に聞いたのは、自分の中でも大きかったです。僕は就活のスタートが遅れていたんですが、これがきっかけでヤル気が沸いてきて、就職指導課に相談に行っているんなアドバイザーをいただいて、本格的にサポートをかけていったんです。

池畑 11月頃にあった、16年卒の内定の決まった先輩に、業界ごとにお話を聞くイベントが印象に残っています。

それぞれ志望する企業から見事内定をいただいたばかりの法学部4年生、永平詢さん、樋口翔太さん、池畑紗英子さん、伊勢歩実さんの4人に集まっていたとき、企業の絞り込みから就活で役に立ったこと、気をつけてほしいことなど、後輩就活生たちへのアドバイスを就職指導課の進行で伺いました。

インターンシップに参加して 自分の進む道が見えてきた

まずはそれぞれの内定先企業と志望理由からお聞かせください。

樋口 JTBコーポレートセールスに内定をいただきました。もともと旅行業界に興味があったのと、旅を通じて感動を与える仕事をしたいなと思い、旅行業界を中心に就活をしました。その中でも、リーディングカンパニーとしてお客様から信頼があるこの企業でぜひ働きたいと思いました。

伊勢 富士通の総合職で内定をいただきました。志望理由は、IT業界に興味があつて、インターンシップもIT業界の会社でしたこと、なによりITを使って人々がより幸せになれることをサポートしたいと思ったからです。

永平 東日本旅客鉄道に内定をいただきました。就職活動中はOB訪問をたくさんさせていただいたのですが、その中でも安全に対する意識の高さが徹底されており、日本の大動脈を支えるJR東日本に決めました。

池畑 損害保険ジャパン日本興亜の総合系エリアで内定をいただきました。私がこの会社に決めた理由は、事業領域の広さ、そして自分自身も運動で大ケガを経験したので、事故やケガなど

でマイナスの状態に陥った人に対して、原状回復のお手伝いができるということに惹かれて最終的に決めました。

—— 先ほど伊勢さんからインターンシップというお話が出ましたが。

伊勢 自分で調べて、長期のインターンシップに2社参加しました。3年生の2月から3ヶ月間と、今も1年以上続けているものがひとつあります。

—— 内定先以外の企業のインターンシップにも行かれたのですか。

伊勢 はい、広告業界に行きました。もともとは広告業界に興味があつて、エンジニア系、営業、企画とやらせていただいたのですが、最終的にはメーカーで、組織の中で一連の業務を担当できる場所に就職したいと考えました。自分が興味ある業界で実際に働いてみることで、それが本当に自分がやりたいことなのか、自分はこの部分にもっと注力していきたいのかということをつかめたと思います。

—— ほかの方もインターンシップはかくなり参加されましたか？

池畑 私は民間企業の5日間のインターンシップに参加しました。内定先ではない他の損害保険会社のインターンシップにも参加したのですが、損保業界の業界理解、企業分析にすごく役立ちました。

私は3年生の8月からインターンシップにも行って、就活をそれなりにやっている気になってはいたんですが、その時に、先輩のスケジュールや自己分析ノート、就活ノートを見せてもらって、私はまだまだ甘いと。自分の就職活動を見直すきっかけになりました。

—— やはり身近な先輩の話は、就活生にすごく影響を与えるんですね。

**就活はここがポイント！
後輩たちへのメッセージ**

—— 今年は企業の採用選考が6月1日解禁と、前年より2ヶ月前倒しになりました。その部分で何か焦りとか、たいへんだったことはありませんか。

池畑 超短期戦でしたね。

伊勢 自分たちで情報を収集しないと、どんどん置いて行かれるというところが多かったです。



法律学科4年 (丹羽ゼミ)
池畑紗英子さん
内定先
損害保険ジャパン
日本興亜株式会社 (総合系エリア)



法律学科4年 (西原ゼミ)
樋口翔太さん
内定先
株式会社JTBコーポレート
セールス (グループ総合職)

池畑 私は就職課程を取っていて、教育実習を前学期の5月末から入れているので、これはまずいと思って後学期に変更しようとしたのですが、県内も都内も全部断られて。結局親戚が住む熊手で教育実習を後学期にやりました。私は早めに動いたからよかったですけど、動かなかつたら多分就活はできなかつた。あるいは就職を諦めざるを得なかつたかもしれませんね。

—— それでは最後に改めて、来年も同じ就活スケジュールだと仮定して、後輩たちへメッセージをお願いします。

池畑 就職を取っているのに、就活と重なって諦めるのはすごくもったいない。自分でスケジュール管理をしっかりすれば、超短期戦も乗り越えられると思うので、スケジュール管理をしっかりやってほしいなと思います。

永平 SPIはとにかく早めから対策してほしいと言いたいです。自分はSPI対策をする時期がESの時期と重なってしまい、対策もあまり出来ずに臨んで、面接に進めなくて残念だった企業が数社ありました。早めに始めてとりあえず筆記テスト対策をやっておけばなんとかなると思うので、そこをしっかりとってほしいと思います。

伊勢 早い段階からいろんな人に会って、いろんな業界の方の話を聞くのが一番いいと思います。私は最初に志望していた業界からまったく違う業界に進みますが、そういうことを早く気付けたのも、インターンシップだったり、働いている方たちの話を聞くことが



司会・進行
法学部就職指導課
吉田隆行 課長

永平 私は民間企業の2dayとか5日間のインターンシップにたくさん参加しました。いろんな業界を見たことで、逆に取捨選択ができたと思います。これは自分には合わないなと思ったり、社員の方とお話したり、その中でどんな業界も絞れていったので、そういう点ではすごく役に立ったと思います。

—— 皆さん、インターンシップに参加することで、より自分が本当に望んでいる方向が見えたということですね。

就職指導課の支援行事や 相談コーナーを活用しよう

—— 就職指導課の様々な就職支援行事や、職員が学生一人ひとりに対応する相談コーナーは利用されましたか？

永平 はい。一番印象に残ったのは、エントリーシート対策です。就職指導課の方がしっかりと添削してくださって、ここはこうした方がもっと伝わりやすくて、すごく客観的に何度もみてくれたので助かりました。添削してもらったESは、落ちたことがなかったんですよ！

—— それはよかった(笑)。

伊勢 一番初めに就活を意識したのが、3年生の時に参加したメイクアップ講



きたからだと思っています。まわりの様々な方のお話を聞いて、自分の意見をちゃんと伝える環境を常に整えておくのがいいと思います。

樋口 まずは自分は何をやりたいかというのを、しっかりと明確にすることが重要だと思います。自分は正直すごくそれで迷って、最初の頃はダラダラとして時間が過ぎていってしまい、春先から焦って始めたのですが、結局毎日1日3社、4社面接があるということになってしまったので。早めの準備自己分析をとにかく早くやるのがすごく重要だと思います。

—— 就職指導課としても就活生に感じてほしいと思うことを、4人がそれぞれ挙げてくださいました。後輩の皆さんはぜひ取り入れてほしいですね。



総合広告制作会社
アクティブデザイン部

五十嵐響介さん

2013年 経営法学科卒 (臼井ゼミ)

—現在の仕事の内容、やりがいを感じる点は？

広告会社のプロモーションプランナーを担当しています。企業の課題に対して、プロモーション起点で解決するプランを提示する仕事で、商品・サービスブランディング、販促活動を一手に担います。クライアントは飲料、流通、情報通信と業態は様々。プランニングだけでなく、コピーやクリエイティブのディレクションや、いろいろなデータを解析して、プランニングに役立てるマーケターとしての役割も兼任しています。考えに考え抜いた提案が、クライアントや消費者に好意をもって受け入れられ、世の中の反応が大きければ大きいほど、感動もひとしおです。

—この業界をなぜ志望されたのですか。

もともと広告業界への憧れがあったからです。また、4年間所属した広告学研究会で、(学生レベルながら)テレビCMやプロモーション案を考えていたこともあり、「仕事でもこれをやろう」と思っていました。

—後輩たちにメッセージをお願いします。

自分の好きなモノ・コトで、「これだけは負けない」という知識を身につけたり、経験をして下さい。音楽、スポーツ、語学、アニメなど、広く浅くでも、狭く深くでもどちらでも構いません。そして、好きなモノ・コトの、どんな点が自分の心を動かしているのかを言語化しておいてください。広告業界にいる方々は、知的好奇心が強く、何でも興味を持ってくれます。臆せず、自分を最大限表現するチャレンジをしてみてください。守りに入れば、いい結果は生まれません。殻を破りましょう。



埼玉県信用農業協同組合連合会
(JAバンク埼玉) システム指導部

板橋俊輝さん

2015年 法律学科卒 (清水ゼミ)

—現在の仕事の内容、やりがいを感じる点は？

システム事業部の事務指導関係の担当で、県内のJAに対して金融のシステム面で指導を行っています。顧客の契約内容の変更の仕方等の問い合わせ対応や、研修会を開催してJAで取り扱う商品の説明をしたり、窓口を設置してある端末を使用した口座開設等の説明を行います。そのような業務の中で、1年目から研修会の講師を任せられることにやりがいを感じています。研修を行う前に資料の作成等の準備もするのですが、自分が講師を務めた研修会のアンケートに「板橋さんの説明がわかりやすかった」と記入してあると、準備のたいへんさも忘れるくらいうれしいです。

—この業界をなぜ志望されたのですか。

まず、金融関係であれば、地域の利用者や企業等に対して経済的に支援をすることができますし、地域の発展に幅広く寄与できると考えました。そのうえで、自分の生まれ育った地域で貢献をしてみたいと思ったので、地元のJAバンク埼玉を志望しました。

—後輩たちにメッセージをお願いします。

就職活動をしている時は、なによりその企業で実際に働いている「人」を重要視していました。もちろん就職活動中はその企業の一部の人にしか会うことができませんが、その一部の人でも自分が良いなと感じたら、その企業に力を入れて就職活動に取り組むようにしてきました。

残りわずかの大学生活を楽しんでください。就職活動は長いと思います。上手に気分転換しつつ、自分の納得のいく職場を見つけましょう！

法学部OB・OG インタビュー

～仕事のやりがい、そして後輩たちへの就活メッセージ～

就職戦線を乗り越え、それぞれ志望の企業で社会人としてのキャリアをスタートした法学部の先輩たち。その就職先は実に多岐に渡っています。今回は法学部の各学科から5人のOB・OGの皆さんに、志望動機や最前線で働いているからこそわかる仕事の魅力、そして後輩就活生たちへのアドバイスを寄せていただきました。



三井ホーム株式会社
営業職

松井文香さん

2016年
公共政策学科卒 (谷田部ゼミ)

—現在の仕事の内容、やりがいを感じる点は？

三井ホームで新築営業を担当しています。家を建てたいと考えているお客様に対して、三井ホームと自分自身を気に入ってもらえるようにアプローチしていくのが仕事です。「家」は一生に一度の大きな買い物なのでお客様は真剣です。そしてお客様は家を見に来ると同時に、営業担当も選びに来ています。その中でお客様から気に入っていただき、営業として選ばれた時はとてもやりがいを感じます。お客様の期待を超える提案をしたことで喜んでくださったり、マイホームに大きな期待を抱えてワクワクしている時のお客様の笑顔と「ありがとう」は本当に力をもらいます。

—この業界をなぜ志望されたのですか。

私の就職活動の軸は「やりがいと成長」でした。私は学生時代は日本大学女子ラクロス部に所属していたのですが、じっとしているのが苦手なので営業職の中で探していて、売るものに自分なりの「付加価値」をつけて売りたいと考えていました。誰にでも売れるものではなく、自分の付加価値で売れるか売れないか試せる仕事がしたいと思い、この仕事を選びました。「家」を選んだのは、私の父が大工で、小さい時から間近で家づくりを見ていて、お客様と父の関係性に惹かれていたからだと思います。家づくりを通して、お客様との縁もずっと続く仕事はそんなに多くないのかな、と思って決断しました。

—後輩たちにメッセージをお願いします。

とにかく大学生活の中で何をしてきたか、何を頑張ってきたかが問われるのが就職活動です。今、自分の中で頑張っていること、夢中になっていることを大切に継続していきましょう！



全日本空輸株式会社 客室乗務部

地頭菌友香さん

2015年
政治経済学科卒 (岩井ゼミ)

—現在の仕事の内容、やりがいを感じる点は？

客室乗務員として入社後約2ヶ月間の専門訓練を受け、その後8ヶ月間は国内線のみ乗務、現在は国内線、国際線の両方を乗務しています。

仕事のやりがいはお客様の笑顔です。私たち客室乗務員は、お客様を安全に目的地にお届けするために責任感を持って乗務するとともに、お客様には機内で快適にお過ごしいただきたいと思っています。お客様と接する時間はわずかですが、お客様の些細な仕草に気づき、「ANAに乗って良かった」と思っていただけのように、お客様一人ひとりに合った声掛けをするように心掛けています。私もまだまだ勉強中ですが、「自分がお客様の立場だったらどうしてほしいか」を常に考えるようにしています。

—この業界をなぜ志望されたのですか。

祖父母が北海道と鹿児島に住んでおり、幼い頃からよく飛行機を利用してました。その際、耳が痛くなってしまった私にアメやジュースを持ってきてくれたり、小学生の頃に初めて1人で飛行機に乗った時は代わる代わる声をかけてくれた経験から、客室乗務員に憧れるようになりました。3つ年上の姉が客室乗務員をしていることも大きく私に影響しています。

—後輩たちにメッセージをお願いします。

私はエアラインスクールに通ったり留学経験があるわけでもありませんが、今、客室乗務員の仕事を心から楽しんでます。先輩方は保安と接遇のプロフェッショナルでありながら、手話や語学が堪能だったり、ワインの知識があったりと尊敬できる方ばかりです。自分自身のステップアップとともに見える世界が広がるこの仕事には可能性がたくさんあります。お客様として仕事仲間として、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

法学部校友会の就職支援

法学部ではOB・OGが現役生をサポートする良き伝統が受け継がれています。様々な分野で活躍するOB・OGによる法学部校友会でも、学生の就職活動を支援する多彩な行事を開催しています。ここで紹介したほかにも、日本大学芸術学部教授・佐藤綾子先生による「自己表現力向上ガイダンス」なども行われます。

OB・OG就職相談会

様々な企業・官公庁で活躍されている法学部OB・OGと、対面式で直接話を聞ける機会とあって毎年大盛況のイベント。昨年も約90名もの先輩たちが駆けつけ、就活生からのあらゆる質問、相談に丁寧に対応していただきました。



マスコミ業界研究セミナー

新聞・出版・放送・広告・エンタテインメントの最前線で働くOB・OGが多数来校。今年から年2回の開催となり、6月には各業界の仕事内容についての業界別説明会、9月には車座になってOB・OGから直接話が聞ける業界別質問会が開催されました。



資格試験合格者褒賞制度

就職活動にも役立つ資格取得を目指す学生を支援する企画。毎年春にエントリーを受け、合格した学生には校友会から賞状と図書カードが贈られます。授与式には合格者300人以上が出席。毎年合格者は増え続け、関心の高さが伺えます。



平成28年度 法学部後援会総会が開催されました

法学部学生の保護者を正会員とする法学部後援会の平成28年度総会が開催され、多数の保護者の方に御出席いただきました。当日は後援会総会に先立ち、保護者の方を対象とした説明会が行われ、担当教職員より「学業成績と卒業」「学生研究室における資格取得支援」「法学部における就職支援」についての説明があり、(株)岡崎人事コンサルタント代表取締役社長・岡崎洋氏による講演が行われました。後援会総会では、後援会長および法学部長の挨拶、会務報告が行われた後、事業計画等の議案が審議されました。総会終了後は、希望者による学内施設案内や各種相談コーナー(授業・成績関係、学生生活・奨学金関係、就職・資格試験・課外講座)、さらに教職員を交えての懇談会が行われました。

(後援会総会) (本館3階大講堂)
後援会長および法学部長の挨拶
会務報告、事業計画の審議
総会終了後、映像による施設紹介



(総会開催前説明会)
「学業成績と卒業について」
・法学部の教育方針、成績表の見方、卒業単位数、GPAについて、他。
学務担当 小田司教授



「学生研究室における資格取得支援について」
・学生研究室の概要、資格試験合格に向けた学生支援
研究事務課 吉田翼

「法学部における就職支援について」
・株式会社岡崎人事コンサルタント代表取締役社長 岡崎洋氏講演「わが子の将来を見据え、就活を支えるために、共に考える」
・法学部の就職(進路)支援体制と取り組み
就職指導担当 山田光矢教授

(総会終了後)
・学内施設案内(6号館、10号館、図書館見学)
・各種相談コーナー開設(本館3階各講堂)
①授業・成績関係 ②学生生活・奨学金関係
③就職・資格試験・課外講座
・懇談会(本館地下学生食堂)



↑スライドを交えての説明に、保護者の方々は熱心に聞き入っておりました。
→総会終了後には本館各講堂に各種相談コーナーが開設され、保護者の方からの様々な相談に担当教職員が対応しました。



就職指導課がお答えします 保護者の皆様からの

就活 Q&A

Q 子供が就職活動中に、親はどんなことに気をつけたいのでしょうか。

A 主体は子供(学生)、親は就職活動の併走者です。子供の行動を尊重しつつ、適度な距離感を保って、心の支えになってあげてください。

とくに避けるべき注意事項は、
①親の価値観の押しつけ：親世代の古い価値観の押しつけはかえって反発を招きます。
②親の過度な期待：子供(学生)には負のプレッシャーになります。
③過ぎたるは逆効果：あくまで主役は子供(学生)です。
④他者と比較しない：ガツカリ顔は厳禁です。また、就職活動中は健康管理と交通費など経済面のサポートもお願いします。

Q 業種、企業を選ぶ際に親として注意すべきことは。

A 親世代と子供(学生)たちでは、就職活動を取り巻く環境、就職に対する価値観が大きく変化しています。女性の働き方も変わりましたし、親世代からしたら聞いたことがないベンチャー系の企業で元気に働いている先輩も多いのです。時代や仕事観に差違があることを十分に認識したうえで、一番身近な社会人の先輩として親子でゆつくり話をしてください。

企業選びではインターンシップにできるだけ多く行って、様々な業界を自分の目で見てくること。インターンシップを通じて社会人と接することだけでも有益です。

Q 子供が就職活動で苦戦している時、どう接すればいいですか。

A 現在の就職活動では、親世代の時代よりも、子供さんたちは多くの企業の選考を受けます。そのため、何度も選考で落と

Q



されるといふ経験をされる場合もあります。そのような辛い状況を癒してくれるのが、ご家族です。食事やねぎらいの言葉で、子供さんが再び就職活動に取り組み気力を取り戻せるような雰囲気を作ってください。ただし、状況をしっかりと聞いたり、親の価値観を押しつけるのは逆効果。温かく見守ってあげてください。

Q 就職課程と就職活動は両立できますか。

A 就職課程必修の教育実習は例年4年生の5～6月にあり1日も休めません。民間企業の採用選考開始が6月1日からですので、スケジュールの重複を十分

Q

に踏まえて、できるだけ早く優先順位を決めて行動することです。そのためには、3年生までの履修計画をしっかりと組んで、4年は就職活動に時間を割ける環境を作っておくことが大切です。

Q 公務員と民間企業との併願は可能でしょうか。

A 多くはありませんが併願した先輩もいます。公務員試

験の勉強をしながら民間企業にエントリーしていくのは覚悟が必要です。早めに志望先を定めて計画・準備をしてください。それぞれインターンシップに参加して、実際に経験してみるといいですね。

Q 地方出身者でひとり暮らし。就職活動が心配です。

A がんばっているのに自分の努力だけでは結果がなかなか

Q

か出来ないこともあるでしょう。ひとりで不安を抱えている様子なら、就職指導課の窓口へ相談に行くように子供さんにご助言ください。就職指導課では、子供さんそれぞれの状況に応じて、どんなことでも力になります。あるいは、こういう方向性も考えられるというアドバイスもします。法学部では教職員が一丸となって子供さんの就職活動をバックアップしています。学校を信じて、就職指導課を最大限に利用してください。

学生の就職活動をバックアップ 就職指導課

就職指導課では、就職活動に直結した各種就職支援プログラム、学生一人ひとりに個別のサポートを行う相談コーナーなど、きめ細かいサポート体制を整えています。就職活動で何か困ったことがあったらまずは就職指導課へ。就職指導課を積極的に利用されるよう、子供さんへのご助言をお願いいたします。

10号館2階

OPEN 平日 9:00～19:00 土曜 9:00～13:00



多彩な就職支援行事を開催

マナー講座からエントリーシート作成ガイダンス、模擬面接、OB・OG就職相談会など、年間50以上の就職支援プログラムを行っています。ぜひ積極的に参加されるようご助言ください。



相談コーナーを常設

就職指導課の職員が就職に関するあらゆる疑問や相談に個別に応じます。希望する企業のOB・OGの紹介、エントリーシートの添削や面接指導なども行います。学生一人ひとりの力になります。



就職関連の資料コーナー

就職指導課内には、就職関連の書籍、過去5年分の先輩たちの就職活動報告書、各企業のパンフレット、公務員試験関係のファイルなどが備えられ、自由に閲覧することができます。

就職に役立つ課外講座

就職指導課およびエクステンションセンターでは、簿記、FP技能士、宅地建物取引士、秘書技能検定、SPI3対策、公務員講座など就職に有利な各種課外講座を実施しています。受講料も大学からの補助によりたいへん安価です。

「NU就職ナビ」の活用

日大生のための就職支援サイトが「NU就職ナビ」。求人情報の検索や企業情報、各種就職支援ガイダンス情報、OB・OGの就職活動報告書などを閲覧でき、進路届など各種書類の届出もできます。早い時期の登録をおすすめします。